

岩槻城の新曲輪に関する考察

～新曲輪にも障子堀あった～

開智中学高等学校 浅井 俊宇

はじめに

岩槻城は現在の埼玉県さいたま市岩槻区にあった城である。元々は武蔵国と下総国の国境地帯にあり、城の北側と東側には元荒川が流れている。築城者は諸説あるが戦国時代後期には、北条氏が城主となっており、北条氏直の弟、氏房が城主を務める。



図1 岩槻城縄張り図

この頃に、豊臣秀吉による小田原攻め

が行われ、氏房はこれに備えるため、岩槻城を大改修し、その時に惣構と新曲輪と鍛冶曲輪を増築したといわれている。しかし、岩槻城は3日で攻め落とされた。その後、徳川家康が関東に入ると、代々譜代大名が城主を務めることになったが新曲輪と鍛冶曲輪は江戸時代にはほとんど使われなかった。現在ではそれらの曲輪は城址公園となり岩槻城内で最も保存状態が良い場所となっている。



図2 新曲輪の凹みと堅堀の位置

その新曲輪の土塁は2段になって

いる。私が注目したのは低い土塁の上には半球上の凹みが7から9個確認することが出来た事である。(右の図の線が堅堀、



図3 小田原城惣構図

丸が障子堀の位置である。)深さや大きさは凹みによってまちまちで深さ数10cmのものから深さ1m以上のものである。この凹みに関する情報が一切ないが、私は障子堀ではないかと仮説を立てた。今回はこの仮説を様々な方面から検証する。また、障子堀とは北条氏が使用した堀を壁のようなもので区切って堀の中での敵の動きを制限する防御システムである。また、障子堀は北条氏を代表するものでもあり発見されると北条氏時代のものとほぼ確定するため、考古学的にも城の年代を特定できる重要なものである。

4 考察1



図4 新曲輪の堀の模式図

により6m前後の間隔で堀障子と思われる高まりを確認出来ている。鍛冶曲輪の隣である新曲輪に障子堀がある可能性

は高いと言える。しかし、今回の凹みは堀の下ではなく土塁の上にあることが障子堀と断定できない大きな理由である。考察

岩槻城では既に惣構と鍛冶曲輪の二箇所障子堀が発見されている。鍛冶曲輪では3つの障子堀が発掘され、レーダー探査



図5 鍛冶曲輪の堀障子写真

1では主に二つの理由から障子堀である立証をする。

まず、岩槻城城主氏房の叔父にあたる氏照の城である滝山城でも同じような構造を用いている。滝山城では外側から深い堀、土塁、障子堀、二の丸の順になっていて、底から見ると障子堀は土塁の上にあると言える。

2つ目に岩槻城の障子堀は従来の壁の様なものではなく右の図のようなもので、本家の障子堀の技法と明らかな違いがあることが分かる。その為、岩槻城にいた北条氏の築城技術の不完全さや技術の相違だけでなく小田原攻めに備える為の期間が4ヶ月しかなかった事を考慮すると他の城とは異なるのもあり得ると考えられる。

4 考察2

考察2と3では障子堀以外の可能性を考えてみる。新曲輪には野球場があり、その時の工事で伐採された木の根の跡の可能性である。



図6 新曲輪の凹みの写真その1 図7 新曲輪の凹みの写真その2

みは深さ1m以上、直径2mほどあり、直径50cm程の木が残せる根の跡であるが、左の写真でも分かるようにその大きさの木は近くに生えていないその為、木の根の跡ではないと考えた。

5 考察3

次に防空壕の跡ではないかと考えた。特に城や古墳などは防空壕や軍事基地に利用されることが多い。しかし、地域の方の話によると土塁の斜面に横穴の防空壕はたくさん作られたが、半球状の防空壕はほとんどないとのこと。また、深さも足りない為、防空壕の意味をあまりなしていないので防空壕ではないと考えた。横穴の防空壕に関しては、新曲輪の堀底は草木で生い茂っていて例え冬でも降りることは難しく横穴の防空壕を実際に確認することはできなかった。

おわりに

凹みがあることで、障子堀であった可能性を考察したが、完全に新曲輪のへこみを障子堀と断定する為には発掘調査をするしかないが障子堀は一つの可能性としては十分に考えられる。また、岩槻城の障子堀が他の北条氏の城と大きく違うことも含めて新曲輪を含む岩槻城は考古学的、歴史的価値が高く今後も調べたいと考えている。

参考文献

埼玉県立歴史資料館 1988年『埼玉の中部城跡』埼玉県教育委員会
岩槻市教育委員会 1995年『埼玉指定史跡岩槻城跡保存管理計画書』
小林照教ほか 1997年『岩槻城国史跡発掘調査報告書2 埼玉指定史跡岩槻城跡・鍛冶曲輪・輪廻地区-1』岩槻市文化財調査報告書第19集 岩槻市教育委員会
新井浩文ほか 2005年『岩槻城と城下町』いっつき郷土文庫第3集 岩槻市教育委員会
さいたま市立博物館・浦和博物館 2005年『戦国時代のさいたま 一城と館からさぐる-』さいたま市・岩槻市合併記念事業特別展図録